

パラグアイ内政・外交報告（11月分）
政治情勢

2017年12月作成

1 内政

（1）党内予備選挙

ア 8日、次期上院選挙への出馬を表明しているコロラド党のトゥマ下院議員は、12月17日に実施されるコロラド党党内予備選挙で、反主流派のアブド・ベニテス大統領候補を支持することを表明した。

イ 15日、一斉党内予備選挙の選挙活動が解禁された。選挙活動期間は12月14日までの30日間となる。

イ 11月28日～12月1日にかけて、abc紙（政府に批判的）及びラ・ナシオン紙（政権寄り）が12月17日に実施されるコロラド党党内予備選挙に関するアンケート調査結果をそれぞれ掲載した。abc紙の調査によれば、反主流派のアブド・ベニテス候補（44.5%）が主流派のペニャ候補（34.2%）を10ポイント以上リードしているが、他方、ラ・ナシオン紙によればペニャ候補（48.0%）の支持率がアブド・ベニテス候補（42.9%）を上回っており、2紙の調査が全く異なる結果となった。コロラド党主流派・反主流派双方の政治家や支持者は、自陣営に不利な調査結果の信憑性に疑義を呈し批判している。

（2）次期検察庁長官の任命

10月9日、カルテス大統領は次期検察庁長官としてキニヨネス検事を指名したが、リベラル党、左派連合及びコロラド党反主流派が同検事の任命に反対しているため、議会の承認は12月17日の一斉党内予備選挙後に持ち越される見込みとなった。

（3）2018年予算案

10月末に財務相から議会に提出された2018年予算案は、11月9日に下院議会での審議が終了し、上院議会に提出された。22日、上院議会は医者及び教員の人件費を当初予算から増額する修正案を可決し、同修正案が下院議会に差し戻された。これに対して、下院議会でも多数派を占める与党主流派は、財務省から提出された当初案を尊重することを求めており、下院議会での審議が継続している。

2 外交

（1）カルテス大統領のバチカン訪問

9日、バチカンを訪問したカルテス大統領はフランシスコ法王と会談した。2015年のフランシスコ法王のパラグアイ訪問を含め、両者の会談は今回で5回目となる。

（2）パラグアイ伯外相会談

23日、ロイサガ外相はブラジルを訪問し、ヌネス伯外相と会談を行った。両外相は、メルコスール・EU間の自由貿易協定締結に向けた交渉について、年内に合意に至ることを確信している旨表明した。また、会談終了後、両外相は国境地帯の隣接居住地に関する協定に署名した。

(3) 対台湾関係

ア 21日、当地を訪問中のLee Hsi-min台湾国防省参謀総長がカルテス大統領を表敬した。表敬にはロイサガ外相、マルティネス国防相他が同席した。

イ 24日、台湾政府は、当国の養魚業の促進を目的として、淡水魚（パク）の稚魚20万匹を農牧相に寄付した。また、27日、台湾政府の援助により建設された蘭の栽培施設の落成式が行われ、カルテス大統領及びメディナ農牧相が式典に出席した。両式典には、台湾大使の他、当地を訪問中のHsiang Tien-Yie台湾国際合作発展基金会（ICDF）事務局長が出席した。

(4) EU選挙監視団

27日、EUの選挙監視団が来年4月22日に行われる総選挙の事前調査のため当国を訪問し、ベスタルド選挙裁判所長官と面談した。

3 要人往来

(1) 来訪

- Battsetseg Batmunkh モンゴル外務副大臣
- Lee Hsi-min 台湾国防省参謀総長（カルテス大統領表敬）
- Hsiang Tien-Yie 台湾国際合作発展基金会（ICDF）事務局長
- ロルダン グアテマラ外務副大臣

(2) 往訪

- ロイサガ外相、リエラ教育相、仏訪問（第39回ユネスコ総会）
- カルテス大統領（ロイサガ外相同行）、バチカン訪問
- マルティネス司法相、伯訪問（メルコスール司法相会議）
- レスカノ外相、伯訪問（メルコスール内相会議）
- ソサ労働相、亜訪問（第4回児童労働世界会議）
- ロイサガ外相、伯訪問（外相会談）
- レイテ商工相、ボリビア訪問（第4回ガス輸出国フォーラム首脳会合）